

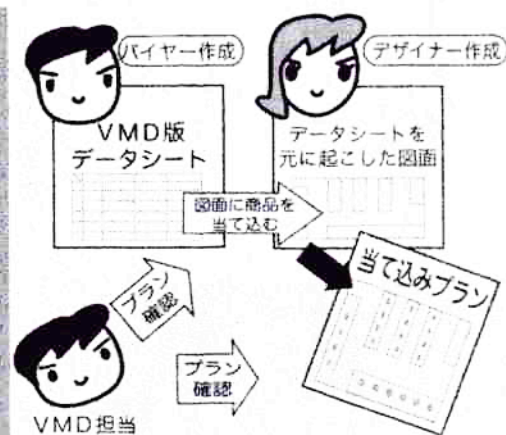
武永 昭光の

VMD基礎講座

Q VMDを担当しています。改装時の主なVMD業務にどのようなものがありますか。

A 改装時のVMD業務は大きく二つあり、一つはバイヤー（マネジャー）が作成したVMD版データシートの確認です。もう一つはデザイナープランを元に作成したバイヤー作成の当て込みプランの確認です。

VMD版データシートの確認
バイヤー作成のデータシートをVMD担



データシートと当て込みプランの確認

当が確認します。①展開分類の分類基準の優先順位②在庫・売り上げ・回転のバランス、③面積当たりの什器台数、什器1台当たりの展開数量④グレード別の展開数量⑤その他必要なプランを確認します。

①は分類基準の優先順位はお客様の購入基準からみて正しいか、お取引先の都合を優先していないか、見た目が美しいか、②は在庫が売り上げや回転からみて適正か、回転が他店と比較して妥当か、③は什器台数が面積当たり適正で通路は十分か、商品量が適正でネガティブスペース（空間）が確保できるか、④は商品量がグレード（価格帯）にふさわしいものかなどを確認します。

当て込みプランの確認

改装時のVMD業務

デザイナーがデータシートを元に図面を起こします。その図面にバイヤーが商品を当て込みます。その当て込みプランをVMD担当が確認します。

顧客本位の分類が実現しているか、まとまり感があるか、隣接するグルーピングに整合性があるか、適量か、並べ方に一貫性があるかなど、立ち寄り率、視認率をアップさせるプランになっているかの観点から点検します。

VMD担当が当て込みプランで確認することは①展開分類②配置③商品量④見え方のバランス⑤並べ方の一貫性⑥棚の段数⑦その後のプランの変更になります。

（ショーアンドテル代表）